第3種郵便物認可

小山・総合人材サービスの篠崎

中小企業に「顧問」紹介

OB活用、成長後押し

総合人材サービスの篠崎（小山市城東7丁目、篠崎呈社長）は、中小企業を対象に「顧問」の紹介事業を始めた。豊富な経験や実績、ネットワークを持つ企業OBと、経験豊かな人材を求める中小企業のマッチングを進め、事業者の成長を後押しする。（岡田優子）

紹介するのは、地銀などの金融機関をはじめ、製造業やサービス業などで活躍したOB。常勤、非常勤を問わず、企業側が必要としている人材のニーズに合わせてマッチングする。

OBには取引先の開拓や生産性向上、技術面のサポートなど各自の能力を生かしてもらう。同社は企業からのみ紹介料を受け取る。

人手不足に直面する中小企業が増える中、同社は昨年7月、中小向けの人材紹介事業「B（び）すけっと」に乗り出した。その中で、経営課題を抱える経営者から「知見、経験のある人に来てもらえないか」という要望が出たことから、企業OBに着目した。

現役時代に企業再生などを手掛けた実績や幅広いネットワークがあり、人事、総務、経理、営業、技術職といった分野で培ったノウハウを持つ人がいる。

ただ年齢などが障壁となり、新たな職を見つけるのが難しいとされている。また「毎日の勤務は無理だが、非常勤であれば」という人も少なくないことから、ライフスタイルに合わせたワークスタイルとして、顧問を提案する。

企業側には、人件費の負担軽減策として、高年齢者などを一定期間継続雇用すると支給される国の「特定求職者雇用開発助成金」の活用を紹介する。

野村光生会長は「実年齢と個人の能力、気力、体力の年齢は必ずしも一致しない」と指摘した上で、顧問紹介は「求人企業と求職者の双方の幅を広げられる。中小企業の経営強化をお手伝いし、地方創生に貢献していきたい」と話している。